



和倉町
車誘導
町会連合会

(41.8km地点)

残り400メートル地点。どうしてもコースを横切って車が往来する場所で、ランナーが途切れた僅かな間で、お互いに声を掛け合い車を誘導。車の誘導だけでなく「ラスト400!」という声援とハイタッチで、ランナーを奮い立たせていた。



中島町瀬風
石川県漁協
ななか支所
七尾西湾出張所

(27.8km地点)

ランナーへ能登マ井を提供。毎年恒例の味をランナーたちも楽しみにしていたよう。笑顔で「能登マ井どうぞ」と声を掛け、ランナーも「ありがとう」と笑顔を見せていた。



能登島須賀町
朝日中学校
吹奏楽部

(14.7km地点)

「ランナーが、少しでもがんばるぞという気持ちになってくれればうれしい」と話した、キャプテンの宮下聖矢くん。ランナーたちも、ブラスバンドが奏でる音楽に答え、笑顔で手を振り返っていた。



七尾東雲
高等学校
ボランティア部

(イベント広場)

牡蠣の殻を拾ったり、炭を足したりして、訪れた人をもてなした生徒たち。辻井辰也くんは「ランナーからのありがとうの言葉がうれしい。来年度も参加したいし、良い大会であってほしい」と、笑顔を見せた。



七尾市
食生活改善
推進協議会

(イベント広場)

ランナーや訪れた人に牡蠣鍋を振る舞った皆さん。「ようこそ。お疲れさま」と出迎える。ランナーも「ありがとう。がんばって完走したよ」と応え、走り疲れた体と心を癒す鍋を堪能していた。



タオル渡し
田鶴浜
高等学校

(ゴール地点)

走りきったランナーに「お疲れさまです」と笑顔でタオルを渡す皆さん。楠彩さんは「全国からの参加者を、地元の人たちがもてなす。知らない人同士が触れ合えることが素晴らしい」と、ボランティアの喜びを話した。



●兵庫県神戸市
浅尾 純子さん
●兵庫県加古郡稲美町
大柿 静子さん

ゼッケンを見て、同じ兵庫県だったので一緒に走ったんです。エイドに寄った時、地元の人々がテントの前まで出てきて肩をたたいてくれ、とても元気づけられました。沿道での応援に、一番感謝しましたね。



●七尾市
田中 孝昌さん

初マラソンで、何とか目標の4時間切りを果たせてよかった。中学生のブラスバンドには、とても勇気づけられ、自然と膝が上がった。沿道に並ぶおばあちゃんたちからの声援も後押しになった。



●東京都豊島区
林 美里さん

全国の大大会に参加しているが、トップ3に入るくらいタフなコース。エイドの人たちが「がんばれ! おかえり!」と温かく声を掛けてくれ、すごく励まされた。「後ろ、せまってるよ!」という、声援もうれしかった。

毎年感激の声が届く市民が中心のおもてなし

参加者の皆さんからの熱い声

みんなの笑顔

Seven Smile

6,183人の笑顔が
能登の里山里海を
駆け抜けた!



能登和倉
万葉の里マラソン2015



3月15日(日)、全国から集まったランナーたちが早春の七尾を走り抜けました。青空の下、波おだやかに輝く七尾湾を見ながらのマラソンコース、42.195キロメートルを思う存分堪能したランナーたち。

一方で、大会は1,500人を超えるボランティアの力によって運営されていました。エイドや関門では、たくさんボランティアがランナーをもてなし、沿道では、赤ちゃんからお年寄りまで、大きな声援を送りました。参加者と受け入れる人々が一体となって開催されたこの大会を、皆さんはどのように感じたのか、聞きました。